

※館内では撮影禁止です。許可を得て撮影しています。



豊富な本が待つ図書館へ

雨が降り、外で遊べないそんなとき、図書館を利用してはいかがでしょうか。

図書館で、昔の資料から最新の情報誌までさまざまな種類の書籍と、あなたの「本との出会い」をサポートする職員がお待ちしております。

●問い合わせ 生涯学習課 図書館係 ☎(25)0158

雨の日に 読書は いかが？

充実した種類・企画

市内の図書館4館(本館・まなびピア・北郷・南郷)では、合わせて約28万7千冊を所蔵し、うち貸し出し可能な冊数は27万2千冊。文学小説や事典のほか、最新の旅行ガイド本やスポーツ誌なども取り揃えています。また、芥川賞・直木賞などの受賞作品や、季節に合わせた本などを並べた特設コーナーを設け、1年を通じて新たな「本との出会い」を楽しめます。



雑誌類の最新号を整理する司書

図書館の専門家「司書」にお任せを

全館に図書館の専門職員「司書」が常駐しています。「探している本がどこにあるかわからない」「こんな本を読みたい」など困った際は、お気軽にご相談ください。また、館内の検索用パソコンで本の場所を調べることもできます。



私たちに
お任せ
ください!

窓口業務を務める司書の皆さん

読みたい本の 取り寄せも



貸し出し中の本や別の図書館にある本は、「予約申込書」で予約でき、希望した本が申し込んだ図書館に届き次第、ご連絡します。また、市内の図書館に置いていない場合は「リクエスト申込書」を窓口へ提出すると、市外の図書館から取り寄せたり、購入したりして対応します(リクエストに応えられない場合もあります)。

利用カードで 借りられる



本を借りるときは「図書

読書中は 幸せな時間

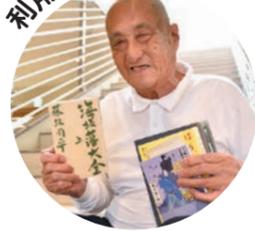
利用者の声



藤原 トキエさん
好きな本のジャンル:
ファンタジー小説

週3回ほど図書館を訪れ、時間が許す限り読書しています。タイトルに「風」が付く本や表紙の色使いが鮮やかな本を選ぶこだわりがあり、大好きな読書に親しんでいる間は幸せを感じます。

利用者の声



崎村 俊仁さん
好きな本のジャンル:
歴史小説

2週間で4冊ほど読み、読み終わらなかった本はまた借りています。図書館は無料で利用できる上に、時間を忘れて本の世界を楽しめます。外出するきっかけにもなり、ちょうどいい頭と体の運動です。

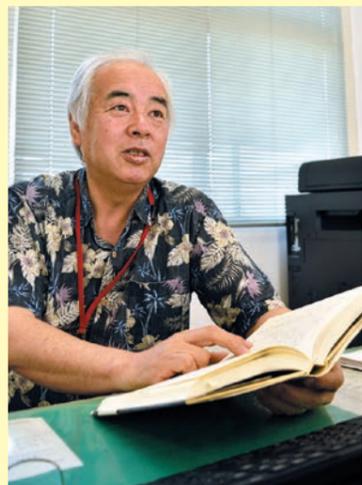
頭と体の いい運動に

さまざまな人生を楽しめますよ

人が一生の内に経験できることは限られていますが、本の中には、想像できない過去の出来事やはるか遠い土地の情報、いろいろな人生をきたた人の考え方などが詰まっています。読書でそれらを得ることで、理解力や共感力を磨きながら違う人生を何度も疑似体験できます。

情報社会の今、わからないことはインターネットで簡単に調べられるようになりました。しかし私は、読書を通じて物事を考える「過程」が大事だと思います。さまざまな本と出会うために、ぜひ市民の皆さんに図書館を活用してもらいたいです。

図書館では、読みたい本を取り寄せたり、4館の連携をさらに強化したりして、市民サービスの向上に努めています。皆様のご来館をお待ちしています。



岡本 武憲 図書館長
好きな本のジャンル:ノンフィクション

一緒に絵本の読み聞かせ

親子をつなぎ想像力豊かに

親しみやすい絵とわかりやすい言葉で表現されている絵本は、人間形成が大切な乳児～幼児期において、想像力や知識などを養う効果があるとされています。しかし、ほとんどの幼児は1人ででも「絵」を楽しめますが、文字がわからないため読めません。「読み聞かせ」によって、読み手が文字を生きた「音」として聞き手の子どもに伝え、絵本の世界に導いてくれます。



こんなに大きな絵本もあります！



大型絵本も貸し出し可能です

年齢に合わせた絵本ズラリ

図書館4館で所蔵している絵本は、約3万4千冊。擬音語が終始続く簡単なものや、立体的に飛び出し遊び要素が満載のものなど、種類がさまざまです。館内の絵本コーナーは土足禁止で、多くの絵本に囲まれながら、子どもを膝の上に乗せて楽しむ様子がほほ笑ましくです。



ブックスタートでプレゼントしている絵本の「いないいないばあ」と「だるまさんが」

0歳から絵本
楽しむきっかけを
市では、赤ちゃんの3カ月健診時に絵本をプレゼントする「ブックスタート」に取り組んでいます。英国発祥のこの取り組みは、全国各地に広まっています。絵本をただ配るのではなく、絵本の楽しさをその場で体験してもらい、絵本を通じて親子で触れ合おうきっかけのきっかけになります。

絵本の幅が広がる

子どもが動物や乗り物の絵本が好きで、一緒に楽しんでいます。「えほんくらぶ」では面白い絵本だけでなく、あいさつやトイレの仕方など育児に関する絵本まで選んでもらえるので、子どもの興味の幅が広がりました。

利用者の声

谷口 恵美さん



厳選した絵本を渡す司書

図書館全館では、0～3歳の赤ちゃんを対象に、特に楽しめそうな絵本を選ぶサービス「えほんくらぶ」に取り組んでいます。月齢などに合わせて絵本を選び、返却時に赤ちゃんの反応を聞き取り、良かった絵本の傾向を記録。次回の絵本選びに生かしています。同サービスの利用は、図書館窓口で申し込んでください。

お薦め絵本を楽しんで

活発な絵本の読み聞かせ

市内のボランティアグループ3団体が、館内で定期的に読み聞かせをしています。

市内に読み聞かせを普及させようと、平成5年から活動している「GAYA」は現在、毎月第3土曜日に本館で、毎月第2土曜日にまなびピアで、絵本を使った「おはなし会」を実施。子どもたちの年齢によって集中力を保てる時間が異なることから、読み終える目安の時間に合わせた絵本を選び、ゆっくりと感情を込めて語りかけ、内容が難しい本はあえてわかりやすく省略するなど工夫しています。



子どもに絵本を読むGAYAのメンバー

絵本に親しむ機会を増やしたい

絵本は、子どもたちに知らない世界を伝え、想像力を育みます。私たちは、子どもたちが内容を理解する「間」を意識しながら息を合わせるように絵本を読んでいて、他の子どもも集まってくるとうれしくなります。

家族と一緒に絵本を読む様子を見ていると、やはり子どもの反応が格段に良いですね。皆さんにもっと絵本に親しんでもらい、私たちの読み聞かせにもたくさん来てもらいたいです。

読み聞かせグループ GAYA代表

津曲 淑子さん 好きな本のジャンル:絵本(昔話)

